

会報

第59号

CONTENTS

- 2 会長挨拶
学長挨拶
- 4 同窓会創立70周年記念式典・懇親会
- 6 2022年度 活動報告
- 7 ボランティア
- 8 学生支援事業
- 10 支部だより
- 11 置かれた場所で咲く
- 12 総会報告
- 13 代議員名簿・文化講座
- 14 同窓会より
- 15 大学からのお知らせ
- 16 ホームカミングデーのご案内
新学棟建設のお知らせとお願い



ノートルダム清心女子大学同窓会 会長 横溝洋子



今年の代議員総会にて、会長の再任を仰せつかり早一年が過ぎました。身に余る大役でございますが、今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

この同窓会運営に関しまして、私達理事はすべてボランティアで活動しています。そして役員、代議員をはじめとする、多くの同窓生の方々のご協力はもとより、学長、諸先生方のご助言、ご指導のおかげと心より感謝いたしております。ありがとうございます。

を中心に、各支部の支部長、及び代議員の皆様のご協力のもと、今まで以上に努力してまいります。

今年の二月にノートルダム清心女子大学同窓会創立七十周年記念式典&懇親会を開催しました。今まで支部総会や同窓生の集いなどもすべて延期や中止を余儀なくされてしまったので、久しぶりに同窓生の方と一緒に、大学の学長はじめ先生方と一緒に、大学、同窓会の歩みを振り返るとともに親交を深め、和やかな雰囲気を楽しみ時間を過ごすことができました。

昨年から徐々に同窓会も含め、さまざまな活動が再開されています。大学祭と同時開催する今年の秋の『同窓生の集い』ですが、今回も奨学生支援バザーと一緒に開催します。『同窓生の集い』では七十周年記念式典の様子が

大学、同窓会の歴史をスクリーンでご覧頂く予定で準備をすすめています。そしてどんなに進化している大学内を見学しながら、ぜひこの秋は学生時代に戻った気分で大内を散策し、同時にタイムスリップして頂きたいと思

ます。支部総会も二年間、中止していましたが再開します。大学も来年度には新学部が二学部開設される予定です。新学棟の建設も順調に進んでいます。大学もまた大きく変わろうとしています。(コロナ禍があったからといって、否定的に思うことばかりでなく、前向きにとらえて進みたいと思います。このような時にこそ、人生を大切に、命を大切にするには、自分自身がどのように行動すれば良いか、周りの方たちの為に何ができるか考えさせられます。)

現在のノートルダム清心女子大学は、

就職率に関しても国内でトップクラスに位置し、公務員や教員も多く輩出しております。また、真面目に仕事に向かう態度も高い評価を頂いています。

これはひとえに同窓生の皆様の多くが就職した先で社会の中で必要とされている存在になってきたからこそその結果です。これからもノートルダム清心女子大学を母校とする誇りを再認識し、皆様からのご指導や助言をお聞かせ頂きながら、そして大学とも連携をとりながら、卒業生の皆様が楽しく参加できる同窓会を目指して活動していきたいと思ひます。あわせて、それが母校の発展の一助となりますことを心より願っております。これからも新しく進化していく母校を、同窓会として皆様と力を合わせて応援してまいります。

ある卒業生の今

ノートルダム清心学園 理事長 ノートルダム清心女子大学 学長 津田 葵



卒業生の皆さま、いまだ新型コロナウイルス感染者数が確認されている現在、大学でも二〇二二年度は累計して四四〇名に達しました。二〇二二年度もより一層

の感染防止対策を大学として心がけてゆきたいと思っております。

そんな中、一人の卒業生が学長室を訪ねてくれました。彼女は、AMDA (The Association of Medical Doctors of Asia)の活動に積極的にかかわっておられます。在学中に宣教師のシスターから英語の上達のために毎日英語で日記をつけなさいとアドバイスを受け、それを添削してくれていた彼女から、将来の展望としてhumanitarian (人道主義)的な仕事に向いているの

ではないかとおすすめを受けたそうです。卒業後、よき伴侶に出会い、結婚

子どもを三人授かり、末っ子のおしめを干していた時、学生時代に一度耳にしたhumanitarian activityというこ

や紛争発生時に医療・保健衛生分野を中心に緊急人道支援活動を展開して

り、現在、三十二の国と地域にある支部のネットワークを活かして、多国籍医師団を結成して活動を行っているそうです。救える命があればどこまでも、を

国外ではロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が続く中で、ウクライナの隣国ハンガリーに赴き、活動を始める前にウクライナ国内の団体とどのような活動が可能かを協議しました。

その会議中に電話が入り、担当者の息子さん(キウウ)で戦死したという衝撃的なニュースを受け、担当者は急遽その遺体を探すためにその場を離れ、戦

地に向かったということをお話してくれました。

「死」の概念がいつも意識にこびりついている最中、彼女はウクライナの子供たちを預かっているハンガリー市内の幼稚園を訪ね、孤独でさびしそうで元気のない子供たちに折り紙を折って日本伝統の遊び方を伝授したそうです。こうして、三月と十月の二度にわたり、

医師五人、看護師六人、調整員三人、合計十四人が現地の変化するニーズに

対応し、現地協力団体と密に連絡をとりながら、医療・食糧・生活支援を行ってきたそうです。このような人道支援の実践は、私たち多くの人々にとって不可能なことだと思ひますが、現実の世界に何が起

因をつきとめ、その課題の解決に少しでも近づくために、私たち一人ひとりに何ができるのかを考え、折り、具体案を作成し、それを実行に移すことが

求められているのです。卒業生の皆さまのそれぞれの分野での活躍、ご健勝をお祈りしております。

歴代の会長



女専初代会長 筒井 祥子



女専二代会長 中込 博子



同窓会初代会長 山崎 寿賀



同窓会二代会長 榎 並英子



同窓会三代名誉会長 田 荆 禎子



同窓会四代会長 坂本 素子



同窓会五代会長 草薙 嘉奈子



同窓会六代会長 長野 育子



同窓会七代会長 西室 典子



同窓会八代会長 横溝 洋子

同窓会創立 70周年

記念式典・懇親会



来賓のSr.津田葵(大14期・英文)学長とSr.高木孝子特別招聘教授の挨拶がありました。



本保恭子(大26期・児童)副学長の乾杯の発声で懇親会が始まりました。



70年にわたる同窓会の歴史や活動、行事などがスクリーンに映し出されました。

懐かしい学舎の映像も流れ、学生時代の良き思い出が一瞬のうちに甦りました。



70周年を祝う料理



荒内和美(大31期・家政)実行委員長が、閉会の挨拶をし、次回の「同窓生の集い」での再会を約束しました。



参加者全員への記念品



大学17・18・19・20期の招待期の皆様への特別記念品



全員で大学歌を斉唱しました。



R5.2.12 山陽新聞より

令和5年2月11日(土) ANAクラウンプラザホテル「曲水の間」で同窓会創立70周年記念式典・懇親会を開催しました。来賓の方をはじめ、全国から約150名の同窓生が集まり、記念式典が厳かに始まりました。



妹尾美穂子(大32期・児童)理事が「祈り」のことばを先んじて、全員で唱和しました。



香川県出身で、国内外で活躍中のバイオリニストの川井郁子さんに演奏していただきました。オリジナル曲の「波の記憶」、「アヴェ・マリア」など演奏され、会場全体が素晴らしいバイオリンの音色に包まれました。



第8代横溝洋子(大26期・英文)会長が、今までの同窓会活動への協力に感謝を述べました。また今後も、同窓生だけでなく、学生たちをサポートするために、力を合わせて歩みを続けると挨拶しました。

多くの方々と共に、同窓生であることに、誇りと喜びを感じることができました。次回は令和5年10月28日(土)のホームカミングでお会いしましょう。

プレゼンテーションコンテスト

二〇二二年九月二十五日(日)、第二十三回ノートルダムトロフィー English Presentation Contest を本学ヨゼフホールB棟三階で開催しました。
当日は本学津田学長より開会挨拶を賜り、準備の段階より本学英語英文学科長をはじめ審査員の先生方、また入試広報部より様々なご支援ご協力をいただき、三年振りのコンテストを成功裏に終えることが出来ました。心より御礼申し上げます。

県内外より七校十三名の応募がありました。一次審査を通過した高校生十名が、パワーポイントのスライドを示しながら、英語による素晴らしいプレゼンテーションを行い、英語による質疑応答では審査員の質問に、自分の考えを分かりやすくまとめて伝えていました。

また、審査時間を利用して、六月、本学が関西圏以外で初の開催校となったJUEMUN2022(模擬国連)のDVD上映と、その模擬国連で議長を務めた本学三年生(当時)の片山さや華さんが見事なプレゼンテーションを披露しました。

英語による司会や進行も本学の学生が担当し、高い英語力や立ち居振る舞いの美しさに、会場にお越しの方々から称賛のお言葉も頂戴しました。
今年度も、有意義な発表の場となるプレゼンテーションコンテストを目指してまいります。



効果的にスライドを使って発表



第23回 プレゼンテーションコンテスト

- 最優秀賞 田中夢唯 (岡山城東2年)
- 優秀賞 斉藤彩花 (岡山学芸館3年)
- 特別賞 細井健志 (岡山学芸館2年)

大瀧賢一郎氏
チャリティコンサート



二〇二二年十二月六日同窓会主催で、テノール歌手として幅広く活躍されている大瀧賢一郎氏によるクリスマスチャリティコンサートを、

ヨゼフホールで開催しました。
大瀧氏は、ノートルダム清心女子大学附属小学校の卒業生です。その縁もあり、同小・同幼稚園児、またその保護者を始め、大学生、大学・同窓会関係者等百名近くが会場に集いました。

コンサートは無料で行われ、本学を皮切りに、広島・長崎・東京の教会などで開催されました。
慈善事業に尽力したマザーテレサ、オードリーヘップバーン、ダイアナ妃、そしてSr.渡辺のお姿が映し出されたスクリーンをバックに、「神の御子は今宵しも」「アメイジンググレイス」など、素晴らしい歌声を披露されました。大瀧氏の深く包み込むような歌声に、会場は魅了され、優しくおだやかな時を過ごすことができました。

また、小学生時代のSr.渡辺との心温まるエピソード―「九九」を覚えるのが苦手だった大瀧氏に「あなたには、美しい歌声がありますよ」と励ましていただいたこと―を話されました。そのシスターのお言葉がきっかけとなり、声楽家の道に進まれました。
受付にチャリティ募金箱を設置しました。募金は大瀧氏の善意で「同窓会に役立ててほしい」と寄附していただきました。
ありがとうございました。

ゆめ文庫

「ゆめ文庫」は、点訳絵本を作成するボランティアグループです。点訳絵本は、市販の絵本の文章をフィルムシートに点訳・貼り付けをし、絵は同じシートで形に合わせて貼り、指先で触れて形がわかるようにしたものです。目の不自由な方も健常な方も一緒に読書を楽しむことができます。

活動は月に二回。活動時間内であれば其々の可能な時間に参加することができます。選んだ絵本の点訳が文章に忠実にできているか等を点検してもらい、わからない箇所はその都度アドバイスをいただける環境です。
道具や資料は全て整えてありますのでご興味のある方はどうぞお気軽にお問合せください。

(大・三十三・国文錦織美和)

パザールの絵

「やっぱりパザールは楽しいねー」
三年ぶりに大学祭で開催することができた奨学生支援パザールは、予想以上に多くの方が来場して下さり賑わいました。遠方から足を運んでくださった同窓生もいて、このパザールは販売するためだけではなく、同窓生たちが集う場所でもあると改めて感じました。また、男性の方も見に来て購入してくださったので、来年度は、男性用のグッズも作ってみようという声も上がり、作品の幅が広がっています。

パザールの売上金は全額、学生たちの奨学金となります。空いた時間



ディズニーリース



ティッシュボックスカバー



千支のうさぎたち

に誰かのために何かをしたと思われているあなた、手芸を楽しむことで、奨学生を支援しませんか？縫物や編み物だけでなく、手作りならどんなものでもOKです。あなたの力をお貸しください。新メンバーを募集中です。
(大・二二六・食山本美智子)

エンジェル会

エンジェル会は、二〇二二年、発足二十周年を迎えました。主な活動は旭川荘内三箇所でのボランティアです。
療育園では、一緒にお菓子を作ったり遊んだりしています。睦学園では、車椅子での散歩や室内活動の手伝い、児童院では、絵本を読んだり歌ったりしています。夏祭り、センター祭り等の行事にも参加しています。私は、二〇一九年七月、初めて夏祭りに参加しました。ボランティアの経験がなく緊張と戸惑いを感じながらの参加でしたが、利用者の方の笑顔と明るさに助けられ、気持ちが徐々にほぐれていくのを感じました。楽しい時間を過ごすことができました。現在はコロナ禍の為、旭川荘でのボランティアは行なっていません。近いうちに活動が再開できることを願っています。

ハンドベル活動も始めて十年。二十七音のベルを六人の演奏者で担当し、誰にも口ずさめる曲を中心に演奏しています。旭川荘の七夕会やクリスマス会、最近では地域のサロン等、お声をかけてくださった所で演奏させていただいています。年代を超えて、和気あいあいと楽しく練習しています。ベルの澄んだ音色に癒されます。一緒に活動しませんか。お気軽に見学に来てください。(大・三十一・英松本千春)



定例会

ゆめ文庫新刊目録

はんぶんこ	杜 今日子
みんな おおあくび	数内 正幸
ごんごんさまにさしあげそうろう	森 はな
ちいさな きいろい かさ	もり ひさし
あいしてるよ	たかやま あゆか
どきどきぼうちゆうしゃ	小林 まさこ
教室はまちがうところだ	藤田 晋治
わんわん にゃーにゃー	長 新太
くろくんと ふしぎな ともだち	なかや みわ
ちいさな星の子と山ねこ	にしまさ かやこ
チビねずくんのあつーい いちにち	ダイアナ・ハンドリー
すどんと いっぱつ すていぬシンパだいかつやく	ジョン・バーニングム
しはつでんしゃ	石橋 真樹子
たこをあげる ひとまねこざる	マーガレット・レイ
ぼくのおへそ	かねきよ みさえ
ね、ぼくのともだちに なって!	エリック・カール
おなら	長 新太
ハーメルンの笛吹き男	レナーテ・レツケ
たのしくわかしつけ! おやすみなさい	野島 剛司
あぶう ばぶう	晴佐久 昌英
せんろはつづくまだつづく	竹下 文子
おべんとうバスのかくれんぼ	真珠 まりこ
ねこのジョン	なかえ よしを



ただいま制作中

奨学生支援バザー

新型コロナウイルス感染症流行の拡大によって二〇二〇年度、二〇二一年度の大学祭は中止になり、二〇二二年十一月五日(土)に三年振りに一日限定で開催されました。同窓会による「奨学生支援バザー」も例年よりも時間短縮の十三時まででしたが参加致しました。当日は穏やかに晴れて、日差しが温もりを感じられる中開催されました。フリージアの会の心のこもった手作り品、多くの同窓生からの寄贈品や遊休品、リユース品の販売を行いました。三年振りの開催なので、お客様が来られるか心配でしたが、十時の開店前から多くの方々が列をなすほどの盛況ぶりでした。開店と同時に品物を手に取り、ブランド品の衣類コーナーでは、姿見鏡の前で試着される方や、セレクトコーナーでは、熱心に品定めをされる方々で賑わいました。

同窓生による「マイショップ」はビーズ織作品、占い、ガチャガチャフリマの三店舗が出店され、どの店舗も盛況でした。また、食品コーナーでは、弁当、サンドイッチ、クッキー、パウンドケーキを販売し、早々に完売しました。

皆様の温かいご支援とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。同窓生の皆様、今年度もどうぞバザー会場に足をおはさしてください。お待ちしております。

2023年度 奨学生支援バザー

◆10月28日(土)：ヨゼフホールラウンジ
*フリージアの会(手作り品)、マイショップ、セレクトショップ、遊休品、ブランドリユース品 10時～14時

☆マイショップ募集
手作り品を制作しておられる方、ご自身のお店を出しませんか？

☆遊休品、ブランドリユース品寄贈のお願い
手作り品、遊休品、ブランドリユース品をご提供ください。Tシャツなどの古着はご遠慮ください。

◆受付期間 9月～10月中旬

◆問合せ
同窓会事務局 TEL(086)253-8496



フリージアの会手作り品コーナー



マイショップ「占い」



遊休品コーナー

2022年度 寄附金・バザー協力者一覧(年度別・敬称略)



奨学金事業

奨学金制度は、愛と奉仕の精神に基づき、学びたい学生を一人でも多く支援する制度として昭和二十九年に発足しました。人物や学業成績などを考慮し、選ばれた学生に返還不要の奨学金として、現在年額二十八万円を給付しています。

奨学金委員会では、二〇二二年度奨学生に対し、七月と十一月に指導報告会を行いました。奨学生としての誇りを持って目標に向かって頑張っている様子を知ることができました。異学科異学年の奨学生が集う報告会ですから、学生にとっても良い刺激になったようです。

二〇二二年十一月には、次年度の奨学生の第一次選考会を持ち、二〇二三年一月の第二次選考会での厳正な審査により二〇二三年度の奨学生七名を決定しました。

2023年度 ノートルダム清心女子大学同窓会 奨学生



学生支援学内講座

二〇二二年度、延べ四八一名の学生が、学内講座を受講し、各種資格を取得しました。

コロナウイルス対策を徹底したうえで、対面授業に戻りました。また、学生たちの状況に応じて、オンライン授業も選択できるように配慮しています。

パソコン講座・秘書検定講座とも、資格取得試験は学内で実施しました。

今後も、学生たちの就職活動の一助になるよう資格取得の呼びかけを続けていきます。

●パソコン資格取得講座 Microsoft Office Specialist

コース	受講者数
Excel アソシエイト (一般)	122
Excel エキスパート (上級)	29
Word アソシエイト (一般)	144
Word エキスパート (上級)	27
Power Point	70
Access	4
合計	396

受賞しました!

《個人賞》

人間生活学科 2年 [MOS世界学生大会 2023] ワード部門 入賞

●秘書検定講座

コース	受講者数
2級	45
準1級	実施せず
合計	45

受賞しました!

2022年度 秘書技能検定 団体優秀賞

●公務員・教員採用試験対策講座

コース	受講者数
公務員試験対策講座	40
教員採用試験対策講座	実施せず

2022年度 同窓会奨励賞(受賞時の学年)

団体

- ◆陸上競技部
- ◆ツボジョーワールド探検隊

個人

- ◆英語英文学科 3年生
- ◆英語英文学科 3年生
- ◆英語英文学科 3年生
- ◆日本語日本文学科 4年生
- ◆人間生活学科 2年生
- ◆人間生活学科 1年生
- ◆児童学科 2年生
- ◆食品栄養学科 1年生

特別奨励賞

英語英文学科 3年生

置かれた場所で咲く

先生と同窓会の関係は深く、二〇一六年から三年間、同窓会の奨学生選考委員として、奨学生の選考・指導をしていただきました。時には厳しく、時には優しく、深い愛情で奨学生を励まし、指導をしていただきました。先生の優しい笑顔に、多くの学生たちが勇気づけられたことでしょう。ありがとうございます。

副学長就任後は、奨学生選考委員を退かれましたが、いつも同窓会を心にかけていただき、深く感謝しています。本当にありがとうございます。

また、今年五月、先生は本学の名誉教授、ノートルダム清心学園の理事に就任されました。先生の今後の益々のご活躍をお祈りいたします。



本保恭子副学長
ありがとうございます

本保恭子先生は、本学児童学科を、一九七八年に卒業されました。卒業後は、児童学科で、実習助手、助手、講師として、学生たちに指導されました。その後、助教教授、准教授を経て、二〇〇八年、教授に就任されました。

障害児・者や困っている人への支援を、治療・教育・福祉の立場から考える「治療教育学」が専門ですが、その学びには終わりがなく、教授就任後も、長崎純心大学大学院で、研究を続けられました。

二〇一九年、副学長に就任（令和三年三月まで学務部長と兼務）され、学生や大学の発展のために、その手腕を発揮され、見事にその重責を果たされました。

「瑞宝小綬章」
受賞おめでとうございます

奥山清美さん



二〇二二年秋の叙勲で、奥山清美さんが瑞宝小綬章を受賞されました。

奥山さんは、一九六五年本学家政学科を卒業され、その後十年間助手講師として大学に勤務されました。大学では、シスターセントジョン学長様のもと、西堀幸吉先生の指導を受けられ、その時の教えが長年に渡る研究・教育生活の支えになっているそうです。

一九七五年四月には、福山市立女子短期大学に着任され、六十五才の定年までの三十三年間を女子教育に心血を注がれました。

また退職後も、同大学・広島県立大学・福山平成大学・福山歯科衛生士学校などの非常勤講師をされていました。

奥山さんの教育に対する真摯な姿勢が、この度の受賞された要因のひとつではないでしょうか。同窓生として大変嬉しく誇らしく思います。本当におめでとうございます。奥山さんの今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

(写真 令和四年十一月三日山陽新聞より)

ボランティアに生きて

廣畑多恵さん 大四十期英文



廣畑多恵さんは、一九九二年本学英語英文学科を卒業されました。

キリスト教の精神に基づく

シユタイナー教育に感銘を受け、シユタイナー学校の先生をしていた日本人男性と結婚し、三人の子どもを授かりアメリカで暮らしていました。

フェルトや毛糸で作ったパペット人形などを用いて、障害者や弱い立場の方のためにボランティア活動をされました。残念ながら四十七才という若さで、NY州コベイクのキャンプヒル(障害者福祉の村)で、二〇一七年に志半ばで、ご家族に見守られながらその生涯を閉じられました。常に弱い立場の方に寄り添うという姿勢は、今でも多くの仲間を引き継がれています。慎んでご冥福をお祈りいたします。

また、令和五年七月九日サンフランシスコの仲間達が来岡し、瀬戸内市立図書館で廣畑さんの遺した人形を使って公演する予定です。

死に近き娘の背に手をやれば
わが指に触れるとがりがりし背骨
母・廣畑周子

支部だより

- 支部活動にご協力いただける方を募集しています
- 支部会費の納入をお願いします

2023年度支部長会報告

2023年5月27日(土)、ノートルダム清心女子大学中央棟8階会議室において支部長会を開催しました。



コロナウイルス対策のため、支部総会の中止を余儀なくされましたが、今年度より支部総会が開催されることになりました。多くの同窓生に参加してもらうために努力することを誓いました。

●北海道ユリア会 (53人)

行動制限が緩和され、世の中のイベントが復活しました。長引くコロナ禍の中で、さまざまな移動や体験の機会が失われた反面、「直接対話することの重要性」を再確認したことでしょう。2023年は、心が元気になる総会の年！新たな出会いとユリア会の絆を確かめあえたらと思います。選ばれしユリア侍、函館に集結を!!

代表 梅田史恵

●東京支部 (2,020人)

活動が少しずつ戻って参りました。2023年8月5日(土)の支部総会は、1都15県の支部特性を考えZoom参加を追加募集します。ご希望の方は、QRコードからお申込みください。東京支部会員限定です。ご参加お待ちしております。



支部長 福長里彩

●東海支部 (580人)

東海支部では、コロナ禍により延期を余儀なくされていた支部総会を2023年10月7日(土)に名古屋にて4年ぶりに開催いたします。同窓生の輪が広がることを願って、皆様と楽しいひとときを過ごせますよう、役員一同、心を込めて準備しております。是非ともこの機会に声をかけ合ってくださいますようお願い申し上げます。

支部長 中司恵理

●京阪神支部 (2,253人)

京阪神支部では、5月から新役員メンバーで支部活動をスタートしています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、やむなく開催中止となっておりました総会・懇親会ですが、2024年8月に開催を予定しております。皆様と再び笑顔でお会いできることを楽しみにしております。多くの同窓生のご参加を心よりお待ちしております。

(兵庫県岡 智香 記)

支部長 宮浦利江

●広島支部 (1,734人)

2022年度も新型コロナ第7波を受け、表立った活動は少ないままでした。そのような中、ノートルダム清心女子大学附属小学校ご出身の音楽家大瀧賢一郎さんがチャリティーコンサート開催のため来広され、広島支部からはお花をお贈りさせていただくことができました。支部の皆さまとお目にかかれる日が一日も早く訪れますように。

支部長 濱田晶子

●岡山県支部 (17,549人)

昨年は、3年ぶりの「地域花みずき会」(各地域で開く同窓会)を瀬戸内・上道・西大寺地域において開催し、40名近くの会員が和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。2023年は、4年ぶりに支部総会・親睦会を予定しています。ともに楽しく心温まるひとときを過ごせる会になりますよう願っております。

支部長 大月昌子

●鳥取支部 (96人)

コロナ禍も3年を過ぎました。「流行り病にかかってしまっ…」とインフルエンザのように、チョッピリ世間では気持ちも緩和されだした今日この頃です。油断禁物ではありますが、今年こそは色々な事が再活動できるのではと期待しております。鳥取支部の皆さん！今年も同窓会再開しますよ！お楽しみに!!

支部長 三輪洋子

●四国支部 (1,319人)

四国支部では初めての企画ですが、2023年11月11日(土)丸亀の中津万象園でミニ同窓会を開きます。近隣にお住いの卒業生で声を掛け合い、素晴らしい庭園を見ながら思い出話を花を咲かせ、さらに絆を深めたいと思います。同窓生の積極的な参加を期待しています。

支部長 正岡ふゆみ

●九州支部 (733人)

コロナ禍で自粛しておりました同窓会活動ですが、今年から徐々に再開していきたいと考えております。総会・懇親会につきましては、来年の開催に向け鹿児島で準備を行って参ります。役員一同、ようやく前進できる事に喜びを感じております。新たなスタートとなる総会・懇親会で一人でも多くの方とお会いできることを楽しみにしております。

支部長 青木美樹子

※各支部の会員数は2023年5月現在のものです

期・科	氏名
大68期・見	佐藤 祐美
大68期・食	藤原 菜摘
大68期・食	守野 奈央
大69期・英	王野 早織
大69期・英	太田 桜
大69期・日	大福 成美
大69期・日	藤井 咲紀
大69期・現	守安 美晴
大69期・現	浅谷 果音
大69期・人	大谷 理彩子
大69期・人	松田 愛見
大69期・見	辻岡 彩菜
大69期・見	原麻 維沙
大69期・食	安田 万智子
大70期・英	夏山 詩菜
大70期・英	西原 菜月
大70期・日	滝澤 真由
大70期・日	大野 真由衣
大70期・現	片岡 瑞稀
大70期・現	塚本 真奈
大70期・人	尾本 真月
大70期・人	平井 夢香
大70期・見	平井 万裕
大70期・見	松尾 咲
大70期・食	片岡 菜緒
大70期・食	嶋田 佳菜
大71期・英	足田 和佳
大71期・英	松岡 歩美
大71期・日	岩藤 真琴
大71期・日	小坂 友香
大71期・現	小坂 知佳
大71期・現	山谷 亜季
大71期・人	山岡 歩美
大71期・人	藤岡 もえ
大71期・見	吉屋 那菜
大71期・見	吉岡 桃子
大71期・食	大原 千佳
大71期・食	岡田 瑠奈

(2023.5 現在 159名)

期・科	氏名
大45期・国	松岡 一美
大45期・家	岡村 亜希
大46期・食	濱田 晶
大47期・食	北原 香奈
大48期・見	堀米 直子
大49期・英	筒井 智美
大50期・英	西川 照美
大51期・英	高橋 三紗子
大51期・食	青木 美樹子
大52期・日	内藤 景子
大52期・食	菱川 明子
大54期・食	金谷 祐子
大55期・社	神原 芳里
大56期・生	野瀬 裕子
大57期・見	秀野 梓
大57期・食	藤田 雅子
大58期・食	井上 結貴
大58期・食	柏瀬 晴子
大59期・生	小林 由佳
大60期・日	石原 三希江
大60期・日	久木 優子
大60期・社	横尾 早奈恵
大61期・日	笠原 彩奈
大61期・日	信江 奈紀
大62期・日	西川 綾華
大62期・日	渡邊 貴子
大63期・社	嶋田 里
大63期・生	石田 みずえ
大64期・社	川崎 有理
大64期・社	俣野 由佳
大66期・見	藤原 果奈
大67期・日	枝木 充
大67期・日	中村 綾乃
大68期・英	末永 貴子
大68期・英	藤澤 杏
大68期・日	竹本 涼香
大68期・日	木村 真緒
大68期・現	藤澤 香恋
大68期・現	森田 千弓
大68期・見	濱田 弓歩


期・科	氏名
大28期・家	河原 秀子
大28期・食	長尾 祥子
大29期・英	大月 昌子
大29期・英	前田 明美
大29期・見	金光 真里
大30期・英	畑野 比呂美
大30期・食	藤野 雅子
大31期・英	佐藤 由美子
大31期・家	甲斐 美恵
大32期・家	池内 比美
大32期・家	佐久間 敦子
大32期・家	横溝 美子
大33期・英	高木 祥子
大33期・家	森川 千代
大34期・国	前田 敦子
大34期・家	岸本 晴美
大35期・国	時久 祐子
大35期・家	中野 明子
大35期・食	名木 いつみ
大36期・家	佐藤 容子
大36期・見	梅田 史恵
大36期・食	青木 泉
大37期・食	渡部 睦美
大37期・食	石井 知恵子
大38期・国	近藤 美智子
大39期・見	木村 久恵
大39期・食	山本 小百合
大40期・英	中野 香
大41期・英	高内 友紀
大41期・英	渡辺 好美
大41期・家	吉村 香里
大41期・見	岡田 香
大42期・家	井上 圭子
大43期・国	福内 里彩
大43期・家	内藤 知美
大43期・食	中司 恵理
大44期・英	仁科 恵紀
大44期・国	東山 有未
大44期・見	榎本 尚子
大45期・英	国司 尚美

期・科	氏名
大8期・国	石井 良枝
大10期・国	古田 啓子
大10期・家	元井 和子
大12期・家	齋藤 明子
大13期・家	光藤 明子
大15期・国	美光 詔子
大15期・家	石津 三子
大17期・英	安井 和子
大17期・国	天野 ひろみ
大18期・英	森本 芙佐子
大18期・国	上川 和子
大18期・家	米本 弘子
大18期・家	秦野 美恵
大18期・見	内田 順恵
大18期・見	古賀 由恵
大19期・国	上野 和子
大19期・食	坂本 鈴子
大20期・見	稲田 敏子
大20期・食	片岡 富子
大21期・国	鳥取 温子
大21期・家	甲田 正江
大21期・家	横内 泰子
大21期・見	正岡 小ゆみ
大21期・食	小山 育子
大23期・英	三輪 洋子
大23期・国	長野 育子
大23期・見	椋代 由里
大24期・英	神浦 泰子
大24期・家	菊井 優子
大24期・食	英仁 千恵子
大25期・英	熊恭 子
大25期・国	大河原 桂子
大26期・英	豆谷 裕恵
大26期・見	福田 澄子
大26期・見	牧 豊子
大26期・食	山本 美智子
大27期・家	服部 裕子
大28期・家	佐藤 千壽
大28期・国	片岡 一恵

二〇二三年度代議員名簿

代議員については、年一回の代議員総会は、同窓会の最高議決機関です。総会に出席し(委任状含む)、同窓会の活動や、会のあり方などを審議していただきます。

ノートルダム清心女子大学同窓会
2022年度 決算報告 (令和4年4月1日~令和5年3月31日)
2023年度 予算 (令和5年4月1日~令和6年3月31日)



二〇二三年度同窓会代議員総会

二〇二三年度同窓会代議員総会は、令和五年五月二十七日(土)、ノートルダム清心女子大学中央棟八階会議室にて、代議員二十四名、委任状出席八十九名の参加で開催され、提出議案はすべて承認されました。

- 第一号議案 令和四年度事業報告及び収支決算承認の件
- 第二号議案 令和五年度事業計画及び収支予算承認の件
- 第三号議案 次期役員選任承認の件

監査報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

- 1 監査の方法の概要
 - (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
 - (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- 2 監査意見
 - (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、会の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

令和5年4月14日

ノートルダム清心女子大学同窓会
監査委員 世良佳子
監査委員 田中恵子
監査委員 齋藤幸子

2023年度 文化講座

「学びの旅を始めませんか!!」

講座名	講師	内容	曜日・期間等	受講料(全納)	教材費
ペン習字	文部科学省後援硬筆毛筆書写検定岡山県審査委員 日本ペン習字研究会師範 橋本 真理(紫泉)	公的資格の文部科学省後援硬筆書写検定3~1級の取得を目指す。万年筆、ボールペン、筆ペンなどで、宛名書き、履歴書、季節の挨拶状など、実用的なスキルを楽しみながら身につける。	5月~7月、10月~1月 毎週水曜日15:00~16:10	20,700円 (1カ月/2,800円)	テキスト代・資料代他(4,000円程度) 書写検定受験者は受験料別途必要
きもの着付け	むつみ京都総合学院学院長 吉井 睦美	ゆかたから留袖まで自分で着られるようになる。和の文化について学べるし、マナーも身につけることができる。人に着せ付けることも可能。講師の資格も取得できる。	5月~7月、10月~2月 ①毎週金曜日10:00~12:00 ②毎週金曜日13:30~15:30	25,900円 (1カ月/3,100円)	テキスト代(2冊) 4,080円(税込)
活け花(小原流)	一級家元 教授 菊井 優子	花に触れ、花を活けながら花とたわむれ、自分の内にある感性を育てていきましょう。	5月~7月、10月~2月 ①第2・4火曜日 13:30~15:30 ②第2・4木曜日 13:30~15:30	21,100円 (1カ月/2,500円)	花代・1回 900円
日本舞踊(正派若柳流)	正派若柳流師範 岡山日本舞踊協会会員 公益社団法人日本舞踊協会会員 若柳 桃保	楽しみながら日本舞踊ができる様、初心者の方にも習得しやすい小曲を中心に指導を行う。また、踊りのお稽古を通して着付け、礼儀作法も身につけることができる。	①大学生/同窓生クラス 5月~3月 第1・3木曜日 13:30~14:30 ②清心幼クラス 5月~3月 第2・4月曜日 14:00~15:00 ③清心小クラス 5月~3月 第2・4月曜日 15:30~16:15	34,100円 (1カ月/3,000円)	扇(4,000円) (自前の扇がある方はご持参ください) 着物(ゆかた)・足袋等は各自ご用意ください

※文化講座は5月開講、随時受け付けます。冷暖房費年間1,100円が受講料に含まれています。

2023年度 文化同好会

同好会名	内容	開講期間	部員数(令和5年1月時点)
源氏物語を読む会	同窓会文学講座を継承し、源氏物語に親しむ	第1月曜日(月1回) 10:30~	11人

文化同好会募集!!
文化同好会を開いてみませんか?

上記の文化同好会のように、趣味が同じ同窓生・学生が参加し、サークル感覚で楽しく活動できる同好会を随時募集しています。趣味の例: 刺繍、水彩画、イラスト、映画鑑賞、語学 など ☆申請方法などは同窓会までお問い合わせください☆

申込み・問い合わせ ノートルダム清心女子大学同窓会 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL(086)253-8496 E-mail: rurudo@theia.ocn.ne.jp

二〇二三年度役員名簿

○は会長 ○は副会長	田中 恵子	齋藤 幸子	世良 佳子	那須 雅子	ミラ 典子	妹尾 美穂子	古川 順子	吉田 行枝	藤原 佳希子	福事 好子	北川 英子	荒事 美子	友実 千春	松本 喜子	中桐 洋子	横井 英子	西原 英子	小笠原 純子	久宅 知恵子	三宅 知恵子	青木 知恵子	安東 みさ子	理事 東陽子
------------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

2022年度活動報告及び2023年度の取り組みについて

ノートルダム清心女子大学同窓会会員の皆様

平素は本学の活動に多大なご支援を賜り誠にありがとうございます。本欄では2022年度本学が実施してきた諸施策について報告するとともに、2023年度の取り組み予定についてもお知らせいたします。

2022年度に実施した施策の第一は、全面的に対面授業を再開したことです。新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、感染症対策に万全を期したうえで年度初めから対面授業の全面実施に踏み切りました。それにより学生と教職員、学生同士の交流を一層充実させることができました。第二に、教学面の充実に取り組みました。文学研究科に英語英米文学専攻博士後期課程を開設することが文部科学省に受理され、2023年度より新規の入学学生を受け入れることになりました。また新学部(仮称:国際文化学部、情報デザイン学部)についても文部科学省に設置認可申請を行なっています。第三に、大学の教育環境の整備や多様な学生の受け入れ体制の構築に務めました。引き続き大学キャンパスのバリアフリー化を進めたほか、2024年春の完成を目指した新棟(7階建)の建設も決定しました。また「多様な学生受け入れガイドライン」を制定し、トランスジェンダー女性を2023年度から受け入れる体制を整えました。

2023年度についても、コロナの感染状況に留意しつつ、対面授業を基本としながらも、遠隔授業の利点も取り入れ、教育の質を一層高めてまいります。大学の魅力や動きを様々なステークホルダーに伝えるため、情報発信の質、量の向上にも引き続き努力します。また、学生の能力や成長を可視化するアセスメントの本格導入や、地域行政などとの連携による学びの機会の充実などを実現していきます。

本学はこれからも学生の成長を目的に諸施策に取り組んでまいります。今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしくお祈りいたします。



ノートルダム清心女子大学副学長(経営担当)
豊田 尚吾

2023年度役職者の紹介

- 学長 津田 葵 (英文学科14期)
- 副学長 豊田 尚吾 (人間生活学部教授)
- 副学長 小林 謙一 (人間生活学部教授)

ありがとうございました — ご退職の先生方 —

- 文学部教授 伊藤 豊美
- 文学部教授 西尾 和美
- 人間生活学部教授 本保 恭子

- 文学部准教授 小山 真由美
- 人間生活学部准教授 野澤 幾子
- 文学部講師 野澤 真樹
- 人間生活学部助手 野佐 綾希子
- 総務部 友野 琢
- 施設企画管理部(管財) 三上 信悟

2022年度 寄付金等のお礼とご報告

卒業生の皆さまには「一粒の麦」などを通じて、日頃から温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。2022年度寄付金について、以下のとおりご報告申し上げます。

2022年度 寄付金	● 学術研究・教育活動の奨励または支援	3件	40,000円
	● 教育研究環境の拡充	5件	41,000円
	● 本学学生に給付する学資	5件	209,000円
	● 目的は問わない	29件	366,259円
		計	656,259円

本学では、これからも学生支援に全力を挙げてまいります。引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

オリジナルブックカバー

卒業生・在学生限定のオリジナルブックカバー(文庫用)に新しく菊、松、ばらが追加され、藤と銀杏を合わせて5種のデザインが揃いました。右のQRコードからダウンロードしてください。



入試広報部から

- 2023年度 オープンキャンパスのご案内
- 6月18日(日) ■ 7月23日(日) ■ 8月11日(金・祝)
- 9月18日(月・祝) ■ 2024年3月20日(水・祝)

* 事前にお申し込みのうえ、参加してください。
中止・変更が生じた場合は本学公式ホームページでお知らせします。

本学公式ホームページに **WEBオープンキャンパス** を開設
◎ 学科の内容や入学選抜について動画で紹介しています

詳しくは、本学公式ホームページをご覧ください。

入試広報部 TEL:086-255-5585(直通)



国際文化学部 [国際文化学科(教務)] 情報デザイン学部 [情報デザイン学科(教務)]

2024年4月 開校50周年(設置開始中)
※設置計画は予定であり、内容に変更があります。

同窓会館利用のしおり

● 使用できる人

- ① 学生・同窓生・岡山清心女子専門学校・ノートルダム清心女子大学現旧教職員(客員)及びその家族
- ② 附属校、姉妹校関係者及びその家族・同窓会会長が承認した者

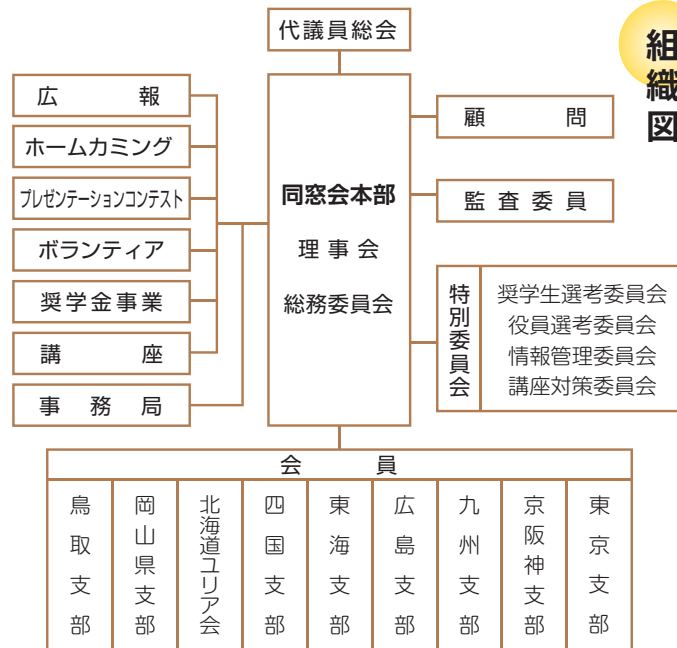
● 使用目的

諸会議・趣味の集まり・同期会など

● 休館日

土曜日・日曜日・国民の祝日・創立記念日・ブレジテンツデー・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

組織図



部屋の名称	収容人数	使用料	
		(会議・会合等) 4時間以内 平日: 9時~16時	
		①	②
1F 第1会議室	20人	3,000円	4,000円
	第2会議室	10人	1,500円
2F うめ(和室)	7~8人	2,000円	2,500円
	かえて(和室)	7~8人	2,000円
備考		超過料金 (1時間につき各料金の2割増し)	

* 冷暖房費は使用料に含む

ゆめ文庫の活動

- 日時 第2・第4木曜日 10:00~16:00
- 場所 ルルド館 2階 第2会議室
- 内容 ①点訳絵本の作製と貸し出し (一般の方・岡山盲学校小学部の方)
②点訳絵本蔵書目録の作成
③「会報」の点訳(パソコン)

フリージアの会の活動

- 日時 第2火曜日・第4水曜日(10:00~14:30)
- 場所 ルルド館 1階 第1会議室
- 内容 手作り品の制作

ボランティア募集中!

エンジェル会の活動

- 旭川荘
・児童院 ・睦学園 ・療育園
* コロナ禍の為、活動は現在休止しています
- ルルド館 1階 第1会議室
・ハンドベルの練習 第1金曜日(10:00~)
第4火曜日(13:00~)

○活動に参加ご希望の方は、お問合せください
ノートルダム清心女子大学同窓会
TEL 086-253-8496

住所等変更届けのお願い
住所等に変更があった場合は、すみやかに会員情報変更届けフォーム・ハガキ・FAX・Eメールで同窓会事務局までご連絡ください。



寄附金のお願い

寄附金は、奨学金事業等に使用させていただきます。会報同封の振込用紙をご利用ください。この振込用紙は郵便局専用です。お振込みの際は、郵便局窓口をご利用ください。この振込用紙で寄附金以外の納入はできません。ご協力いただいた方は、お名前を会報に掲載することをご了承ください。
* 郵便局より現金で振込む場合、料金(110円)が払込人様負担として加算されます。

同期会のお知らせ

大23期家政学科の皆様お元気でしょうか。卒業以来4年に1度の同窓会を実施し、ご参加いただいていたが、今後はホームカミングデー「同窓生の集い」でお会いしましょう。
どうぞ皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

訃報

2016年生涯教育講座でご講演いただいた鮫島純子氏が2023年1月19日にご逝去されました。謹んでお悔み申し上げます。

ホームカミングデー 「同窓生の集い」のご案内

令和5年10月28日(土) — 大学祭初日 —

大学祭が中止になった場合には、「同窓生の集い」「奨学生支援バザー」は開催を中止します。中止の際は、同窓会HPでお知らせします。大学に準じて開催しますので、内容は変更することがあります。ご不明な点は同窓会事務局までお問合せください。

- 時 間：11:30～〔受付11:00～〕 ■ 参加費：3,500円(昼食代含む)
*会食後は自由にご歓談・散策をお楽しみください ■ 申込み方法：9月1日(金)～9月30日(土)
*会報に同封の振込用紙にて振込
- 場 所：大学学内
- 内 容：会食・スクリーン映像・学内ツアー(未定)
*ご参加の方は、配布資料にお名前を記載いたします。ご了承ください。

大学21期の皆様へ

ご卒業50周年をお迎えになられ、心よりお喜び申し上げます。皆様のご卒業50周年を記念し「同窓生の集い」へのご参加を呼びかけています。ささやかな記念品を用意しております。どうぞ皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

奨学生支援バザー

フリージアの会による手作り品・セレクトショップ・遊休品・マイショップ・ブランドリユース品 掘り出し物ぞくぞく、魅力満載です。ぜひお出かけください。

- 時 間：10:00～14:00 ● 場 所：ヨゼフホール 1F ヨゼフホールラウンジ
*注意事項：学内への車の乗り入れはできません。公共交通機関をご利用ください。

- お問合せ ノートルダム清心女子大学同窓会 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9
TEL&FAX (086) 253-8496 HP: <https://nds-u-rurudo.jp> E-mail: rurudo@theia.ocn.ne.jp

新たな学び舎の建設が進んでいます ～ 教育研究環境の拡充 ～

2024年は6名のシスターがアメリカ合衆国から来岡して、ちょうど100周年にあたります。その節目の年に、大学では新学部の設置構想とともに新学棟の建設が進められています。情報化、グローバル化が急速に進む社会で活躍できる人材を育成するため、また学生一人ひとりの潜在能力を十二分に引き出す教育を実践するため、ハードとソフト両面の充実を実践しています。

同窓生の皆様には、日頃から多大なるご支援を賜っているところ恐縮ではございますが、私たちの後輩のため、また母校の発展のため、教育環境拡充資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

詳細は同封の「ノートルダム清心女子大学教育基金 一粒の麦」をご覧くださいませようお願いします。

なお、ご寄付の返礼品として、シスター渡辺和子のメモリアルグッズ作成を検討しております。(詳細は、8月以降HPに掲載予定)

ノートルダム清心女子大学 学長 津田 葵
ノートルダム清心女子大学同窓会 会長 横溝 洋子



南東から見た完成予想図(2024年4月竣工予定)

●題字 故・高木聖鶴

編集後記 会報第59号をお届けします。同窓会は、令和5年、創立70周年を迎え、2月にANAクラウンプラザホテルで記念式典を開催しました。同窓生との再会を喜び、大学、同窓会の更なる発展を願いました。

同窓会の活動はとても地道なものです。Sr.渡辺がおっしゃったように、小さな事にも心を込めながら、今後も活動していくつもりです。

今年のメインカラーは菊の琥珀色です。琥珀のごとく奥ゆかしく、菊花のごとく気品高く、風格高き美德をもってという意が込められています。

会報編集委員一同

●個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。

(情報収集と使用目的)

個人情報の収集は、本会の必要範囲に限定し、使用目的を明確にする。同窓会に登録されているデータは、●ノートルダム清心女子大学同窓会からの連絡送付
●同窓会・各支部・各部会の活動支援
●会員名簿の作成
●会員確認調査
の目的範囲を超えて使用及び提供はしない。

(会員からの申請)

会員は、本人の個人情報の開示訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。